

第7次静岡県保健医療計画の進捗状況について

1 静岡県総合計画に掲げる数値目標等

静岡県保健医療計画は、静岡県総合計画の分野別計画として位置付けられており、保健医療分野の数値目標のうち、特に重要な指標については総合計画内で目標値及び達成時期が設定されている。
(※網掛けは、目標未達成かつ改善していない指標)

ア 「命」を守る危機管理／減災力の強化

目標項目	総合計画策定時 (2013年度)	2017年度目標	現在の状況
人口10万人当たりの食品を原因とする健康被害者数	21.1人 (2012年度)	10人以下	34.5人 (2016年度)
食品衛生監視率	95.5% (2010～2012年度平均)	100%	100% (2016年度)
レジオネラ症等患者発生原因施設数	0施設 (2012年度)	0施設 (毎年度)	2施設 (2016年度)
生活衛生関係営業施設の監視率	100% (2012年度)	100%	100% (2016年度)

イ 「安心」の健康福祉の実現／安心して子どもを産み育てられる環境整備

目標項目	総合計画策定時 (2013年度)	2017年度目標	現在の状況
「自分の住んでいるまちが子どもを産み、育てやすいところ」と感じている人の割合	57.2% (2013年度)	80% (2018年度)	51.6% (2016年度)
4歳以下の乳幼児10万人当たりの死亡数	58.9人 (2008～2012年の平均)	45人以下	54.2人 (2016年)

ウ 「安心」の健康福祉の実現／安心医療の提供と健康づくりの推進

目標項目	総合計画策定時 (2013年度)	2017年度目標	現在の状況	
人口10万人当たり医師数	186.5人 (2012年12月)	194.2人 (2016年12月)	200.8人 (2016年12月)	
医学修学研修資金貸与者の県内定着率	39.1% (2013年4月)	50%	47.8% (2017年4月)	
壮年期(30歳～64歳)人口10万人当たり死亡数	247.7人 (2012年)	240.0人以下	213.2人 (2016年)	
特定集中治療室(ICU)人口100万人当たり病床数	42.8床 (2011年)	51.7床	44.7床 (2014年)	
がんの壮年期(30歳～64歳)人口10万人当たり死亡数	105.6人 (2012年)	102人以下	91.7人 (2016年)	
国・県が指定するがん診療連携拠点病院等を受診する患者割合	86.4% (2010年度)	85% (毎年度)	91.5% (2013年度)	
結核等の感染症の集団発生件数	0件 (2012年)	0件 (毎年)	0件 (2016年)	
感染症の集団発生防止のために対面で普及啓発をした特定社会福祉施設の割合	37.6% (2012年度)	50%	36.4% (2016年度)	
メタボリックシンドローム該当者の推定数(40～74歳)	男性	185,832人 (2010年度)	145,230人	182,351人 (2014年度)
	女性	57,522人 (2010年度)	46,500人	53,622人 (2014年度)
メタボリックシンドローム予備群の推定数(40～74歳)	男性	127,984人 (2010年度)	101,680人	132,531人 (2014年度)
	女性	37,267人 (2010年度)	32,330人	37,362人 (2014年度)
ふじ33プログラムを活用した健康教室実施市町数	0市町 (2012年度)	25市町	33市町 (2016年度)	

エ 「安心」の健康福祉の実現／障害のある人の自立と社会参加

目標項目	総合計画策定時 (2013年度)	2017年度目標	現在の状況
現在の生活に満足している障害のある人の割合	67.9% (2012年度)	70%	69.9% (2016年度)
自立し社会参加していると感じている障害のある人の割合	45.4% (2012年度)	70%	51.3% (2016年度)
自分の住んでいるまちが、安心して暮らせるところだと思っている障害のある人の割合	62% (2012年度)	70%	64.7% (2016年度)

オ 「安心」の健康福祉の実現／いきいき長寿社会の実現

目標項目	総合計画策定時 (2013年度)	H29年度目標	現在の状況
自立高齢者の割合	85.1% (2011年度)	90%	84.5% (2015年度)

2 保健医療計画に掲げる数値目標等

(※網掛けは、目標未達成かつ改善していない指標)

ア 医療機関の機能分担と相互連携

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
地域医療支援病院の整備	6圏域19病院 (2013年度末)	全ての2次保健医療圏 において地域医療支援 病院を整備	6圏域21病院 (2017年度末)
県立3病院の経常収 支比率	中期目標期間を累計した 損益計算における経常収 支比率 (第1期：2009～2013年度)	105.8% (第2期：2014～2018年度)	100%以上 (第2期中途)
医療機能情報提供の 推進	県内医療機関の報告率	67.7% (2014年度)	100% (2016年度)
	県内薬局の報告率	96.4% (2013年度)	100% (2016年度)

イ 疾病又は事業及び在宅医療ごとの医療連携体制の構築

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況	
がん	がんによる75歳未満の年齢調整死亡率 (人口10万人対)	76.5 (2013年)	69 (2016年)	
	がん検診受 診率	胃がん (40-69歳)	41.5% (2013年)	40%以上 (当面)
		肺がん (40-69歳)	48.1% (2013年)	52.4% (2016年)
		大腸がん(40-69歳)	40.2% (2013年)	43.5% (2016年)
		乳がん (40-69歳)	42.8% (2013年)	50%以上 (2016年)
		子宮頸がん(20-69歳)	43.3% (2013年)	43.2% (2016年)
がん診療連携拠点病院などの国指定病 院を設置している2次医療圏の数	5 (2014年度)	8	7 (2016年度)	
脳卒中	脳卒中年齢調整死亡率 (人口10万人対) (男性)	51.6 (2012年)	44.6 (全国平均)	
	脳卒中年齢調整死亡率 (人口10万人対) (女性)	28.2 (2012年)	24.5 (全国平均)	
急性 心筋 梗塞	在宅等生活の場に復帰した患者の割合	95.6% (2011年)	99.0% (2014年)	
	壮年期(30～64歳)死亡率 (人口10万人当たり急性心筋梗塞)	8.8 (2012年)	下げる (2015年)	
	急性心筋梗塞の救急医療を担う医療機 関	26施設 (2014年)	34施設 (2017年)	

糖尿病	特定健康診査の受診率		47.4% (2012年)	70.0% 【当面60.0%】	52.9% (2015年)
	教育入院を行う医療機関 (10万人対)		0.16 (2012年)	0.22	0.16 (2012年)
	年齢調整死亡率(10万人 対)	男性	7 (2010年)	6.7	5.6 (2015年)
		女性	4.4 (2010年)	3.3	2.9 (2015年)
喘息	小学生喘息被患率		3.5% (2013年)	3.2%	2.9% (2015年)
	64歳より若年の喘息死亡者数		5人 (2012年)	3人	3人 (2015年)
	全年齢喘息死亡率		0.8 (2013年)	1.2未満	0.7 (2015年)
	喫煙率		男女計 21.9% 男 34.0% 女 10.8% (2013年)	男女計 12% (2022年)	男女計 20.1% 男 31.6% 女 9.4% (2016年)
肝炎	最近1年間に差別の経験をした肝炎患者 の割合を減らす。		8.9% (2014年度)	5%以下	1.6% (2016年度)
	肝炎ウイルス検査陽性者に対するフォ ローアップを全ての検査実施主体(市 町、政令市、県)で実施する。		91.4% (2013年度)	100%	100.0% (2016年度)
	肝疾患かかりつけ医研修の受講率の向 上を図る。		76.9% (2014年度)	100%	81.8% (2016年度)
	肝臓病を患うことによる悩みやスト レスのある肝炎患者の割合を減らす。		43.8% (2014年度)	30%以下	30.2% (2016年度)
精神 疾患	1年以上の長期在院者数		3,956人 (2012年6月30日)	3,244人(18%減) (2017年6月30日)	3,518人(11.0%減) (2016年6月30日暫定値)
	入院後3か月時点の退院率		55.8% (2012年6月30日)	64%以上 (2017年6月30日)	57.8% (2016年6月30日暫定値)
	入院後1年時点の退院率		89.7% (2012年6月30日)	91%以上 (2017年6月30日)	88.6% (2016年6月30日暫定値)
認知症	早期診断・早期対応につなぐ体制を構 築している市町数		0市町 (2014年度末)	全市町 (2018年度)	21市町 (2017年度)
	かかりつけ医認知症対応力向上研修修 了医師数		673人 (2014年度末)	800人	814人 (2017年度)
	認知症サポート医数		82人 (2014年度末)	110人	233人 (2017年度)
	病院勤務の医療従事者向け認知症対応 力向上研修受講者数		340人 (2014年度)	1,400人	777人 (2017年度末)
救急 医療	心肺機能停止患者の1か月後の生存率		10.2% (2013年)	11.9% (全国平均)	10.9% (2016年)
	心肺機能停止患者の1か月後の社会復 帰率		7.1% (2013年)	7.8% (全国平均)	7.5% (2016年)
災害 医療	通常時の6割程度の発電容量のある自 家発電機等を保有し、3日分程度の燃 料を確保済みの災害拠点病院の割合		76.2% (2014年)	100%	85.7% (2017年4月1日時点)
	二次保健医療圏単位等で災害医療コー ディネート機能の確認を行う訓練実施 回数		年1回 (2014年)	年2回以上	年1回 (2017年)
へき地 の医療	医療提供支援策が実施されている無医 地区の割合		100% (2014年)	100%	100% (2017年)
周産期 医療	周産期死亡率(出産千対)		3.9 (2013年)	3未満	3.7 (2016年)
	妊産婦死亡数		2.7 (2011~2013年平均)	0人	1.7人 (2014~2016年平均)
	NICU病床数(出生1万人対)(東部 地域)		12.4 (2013年度)	25.9	23.2 (2016年度)

小児医療	乳児死亡率(出生千対)	2.1 (2013年)	1.1	1.7 (2016年)
	乳幼児死亡率(5歳未満人口千人対)	0.57 (2013年)	0.35	0.53 (2016年)
	小児の死亡率(15歳未満人口千人対)	0.22 (2013年)	0.14	0.22 (2016年)
在宅医療	訪問診療を受けた患者数(人口千人対)	34.5人 (2012年)	43.9人	37.2人 (2015年)
	在宅死亡者数(率)	21.1% (2013年)	23.6%	22.8% (2016年)
	在宅療養支援歯科診療所数(県内)	124箇所 (2014年度)	600箇所 (2016年度)	303箇所 (2017年度)
	在宅歯科医療の必要な者が月に1回以上受診できる体制	—	整備完了 (2016年度)	437件 (2017年度)
	在宅訪問実施可能薬局数(県薬剤師会登録薬局)	163薬局 (2014年7月)	200薬局	386薬局 (2018年1月)
	麻薬小売業者免許取得薬局数	1,354薬局 (2014年3月31日現在)	1,400薬局	1,506薬局 (2017年3月31日現在)

ウ 各種疾病対策等

目標項目等		保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
感染症対策	結核等の感染症の集団発生の防止	2件 (2013年)	0件 (毎年)	0件 (2016年)
	結核対策	喀痰塗抹陽性肺結核初回治療患者の治療成功割合	44.1% (2013年)	46.7%以上 (全国平均)
エイズ対策	新登録結核患者(全結核患者)への服薬支援の実施率	91.8% (2013年)	95%	97.4% (2016年)
	新登録患者報告数に占めるエイズ患者割合の減少	44.4% (2013年)	30.0%	31.8% (2016年)
難病対策	保健所におけるHIV検査件数	3,199件 (2013年度)	3,400件	2,430件 (2016年度)
	質の高い医療提供体制の構築のための新・難病医療拠点病院や難病医療地域基幹病院等の指定	—	新・難病医療拠点病院(総合型):1か所 難病医療地域基幹病院:8か所	静岡県難病医療拠点病院:1箇所 静岡県難病医療協力病院:36箇所 (2016年度)
臓器移植対策	臓器提供意思表示カード等の所持者割合	46.5% (2014年)	61.0%	46.5% (2014年)
	臓器提供意思表示カード等を持っており、意思を記入している者の割合	11.4% (2014年)	13.9%	11.4% (2014年)
	骨髄ドナー登録者数	9,007人 (2013年度)	11,000人	8,948人 (2016年度)
血液確保対策	安全な血液製剤の安定的な供給の確保(献血者確保目標数(毎年度策定)に対する血液受付者数の割合)	95.5% (2013年度)	100% (2017年度)	94.3% (2016年度)
歯科保健対策	80歳で20本以上自分の歯がある人の割合	43.4% (2013年度)	50%以上 (2022年度)	47.2% (2016年度)
	フッ化物洗口を実施する幼稚園・保育所、小学校等の割合の増加	37.7% (2011年度)	増加 (2022年度)	41.3% (2016年度)
	かかりつけ歯科医を持つ者の割合	35.0% (2013年度)	65% (2022年度)	41.6% (2016年度)
	8020推進住民会議の設置市町数	15 (2012年度)	20 (2022年度)	19 (2016年度)
	市町歯科保健計画の策定市町数	13 (2012年度)	15 (2022年度)	17 (2016年度)

エ 医療従事者の確保

(ア) 医師

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
人口10万人当たり医療施設従事医師数 【再掲】	186.5人 (2012年12月31日現在)	194.2人 (2016年12月31日現在)	200.8人 (2016年12月31日現在)
児童精神科医学寄附 講座	児童精神科専門医 25人 (2014年度)	40人 (2015年度)	36人 (2017年度)
地域周産期医療学講 座	母体・胎児専門医 2人 (2014年度)	9人 (2015年度)	8人 (2017年度)
	新生児専門医 0人 (2014年度)	9人 (2015年度)	5人 (2017年度)
家庭医の養成	家庭医 14人 (2014年度)	16人 (2015年度)	15人 (2017年度)
	指導医 4人 (2014年度)	4人 (2015年度)	5人 (2017年度)

(イ) 歯科医師

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
延べ障害者歯科相談医養成数	337 (2013年度)	400 (2022年度)	454 (2016年度)

(ウ) 看護職員

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
看護職員修学資金貸 与事業	当然免除施設就業率 62.5% (2013年)	70%以上	76.7% (2016年度)
ナースバンク事業	再就業者数 延べ2,794人 (2010～2013年)	延4,000人	延べ5,245人 (2010～2016年度)
離職防止対策事業	新人看護職員研修参加施 設数 55施設 1,047人 (2013年度)	全病院の新人看護職員 への研修実施率 100%	1,297人(95.5%) (2016年度)

(エ) 管理栄養士・栄養士

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
市町管理栄養士(栄養士)配置率(政令市を除く)	90.9% (2014年)	100%	93.9% (2016年)
特定給食施設栄養士配置率	72.4% (2014年)	増加	75.1% (2016年)
健康増進法第21条による指定施設における管理 栄養士配置率	95.7% (2014年)	100%	91.2% (2016年)

(オ) 介護サービス従事者

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
介護職員	44,419人 (2012年)	55,206人	50,030人 (2015年)
介護支援専門員	4,751人 (2012年)	5,776人	5,381人 (2015年)

オ 医療安全対策の推進

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
県医療安全相談窓口における相談者の納得度	81.8% (2013年度)	100%	80.6% (2016年度)

カ 健康危機管理対策の推進

目標項目等		保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
医薬品 等安全 対策の 推進	薬事監視要措置件数	33件 (2013年度)	36件以下	21件 (2016年度)
	収去検査	39検体 (2013年度)	40検体	34検体 (2016年度)
	医薬品類似食品の試買調査	43検体 (2013年度)	30検体	21検体 (2016年度)
	医薬品等の情報提供(講座受講者数)	2,122人 (2013年度)	3,000人	2,731人 (2016年度)
	毒物劇物取扱施設の立入検査による要 措置件数	5件 (2013年度)	20件以下	37件 (2016年度)
薬物乱 用防 止 対策	危険ドラッグの製造・販売を行う店 舗・事業所数	6か所 (2013年度)	0か所	0か所 (2016年)
	麻薬等取扱施設の立入検査による要 措置件数	8件 (2013年度)	10件以下	6件 (2016年)
食品・ 添加物 の衛生 対策	人口10万人当たりの食品を原因とする 健康被害の発生日数【再掲】	51.7人 (2013年度)	10.0人以下	34.5人 (2016年)
	食の安全に対する県民の信頼度	67.3% (2014年度)	75%	69.5% (2017年度)
	食品衛生監視指導率(許可施設監視 率)	100% (2013年度)	100%	100% (2016年度)
食肉等 の衛生 対策	枝肉(牛・豚)の微生物汚染検査頭数(頭 /月)	各11頭 (2013年度)	各12頭以上	各12頭 (2016年度)
生活衛 生対策 の推進	レジオネラ症等患者発生原因施設 【再掲】	1施設 (2013年度)	0施設	2施設 (2016年度)
	生活衛生関係営業施設の監視率 【再掲】	100% (2013年度)	100%	100% (2016年度)
水道	立入指導	507件 (2013年度)	継続実施	452件 (2016年度)
	水質検査適合率	99.97% (2013年度)	100%	99.88% (2016年度)

キ 保健・医療・福祉の総合的な取組の推進

(7) 健康づくりの推進

目標項目等		保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
健康寿命の延伸(日常生活に制限の ない期間の平均の延伸)	男性	71.68歳 (2010年度)	平均寿命の増加分を 上回る健康寿命の増 加	72.15歳 (2010、2013、2016 年の平均値)
	女性	75.32歳 (2010年度)		75.43歳 (2010、2013、2016 年の平均値)
特定健康診査受診率(40~74歳)		47.4% (2012年度)	70% (当面 60%)	52.9% (2015年度)
特定保健指導実施率(40~74歳)		16.8% (2012年度)	45% (当面 25%)	18.5% (2015年度)
メタボリックシンドローム該当者の 推定数(40~74歳)【再掲】	男性	183,418人 (2012年度)	145,230人	182,351人 (2014年度)
	女性	54,287人 (2012年度)	46,500人	53,622人 (2014年度)
メタボリックシンドローム予備群の 推定数(40~74歳)【再掲】	男性	131,326人 (2012年度)	101,680人	132,531人 (2014年度)
	女性	36,360人 (2012年度)	32,330人	37,362人 (2014年度)
メタボリックシンドロームの概念を知っている 人の割合		75.8% (2013年度)	100%	75.8% (2013年度)

がん検診受診率 【再掲】	胃がん (40-69歳)	41.5% (2013年)	40%以上 (当面)	42.6% (2016年)
	肺がん (40-69歳)	48.1% (2013年)		52.4% (2016年)
	大腸がん(40-69歳)	40.2% (2013年)		43.5% (2016年)
	乳がん (40-69歳)	42.8% (2013年)	50%以上	45.4% (2016年)
	子宮頸がん(20-69歳)	43.3% (2013年)		43.2% (2016年)
「子ども一人」で朝食を食べる割合 の減少	幼児	17.3% (2014年度)	減少傾向へ	17.9% (2016年度)
	小6年	24.4% (2014年度)	減少傾向へ	29.4% (2016年度)
	中2年	43.0% (2014年度)	減少傾向へ	45.3% (2016年度)
	高2年	47.5% (2014年度)	減少傾向へ	62.3% (2016年度)
喫煙習慣のある人の割合 (20歳以上)	男女計	21.9% (2013年度)	男女計 12.0% (H34年度)	20.1% (2016年度)
	男性	34.0% (2013年度)		31.6% (2016年度)
	女性	10.8% (2013年度)		9.4% (2016年度)

(イ) 高齢者保健福祉対策

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
自立高齢者の割合【再掲】	84.9% (2012年度)	90%	84.5% (2015年度)

(ウ) 母子保健福祉対策

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
10代の人工妊娠中絶率	0.64% (2013年度)	0.5%以下	0.43% (2016年度)
1歳6か月児健康診査未受診率	2.5% (2013年度)	0%	1.8% (2016年度)
3歳児健康診査未受診率	3.2% (2013年度)	0%	1.7% (2016年度)

(エ) 障害者保健福祉対策

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
現在の生活に満足している障害のある人の場合 【再掲】	67.9% (2012年度)	70%	69.9% (2016年度)
自立し社会参加していると感じられる障害のある人の割合【再掲】	45.4% (2012年度)	70%	51.3% (2016年度)
自分の住んでいるまちが、安心してくらしたいところだと思っている障害のある人の割合 【再掲】	62% (2012年度)	70%	64.7% (2016年度)

(オ) 保健施設の機能充実

目標項目等	保健医療計画 策定時(2015年3月)	目標 (2017年度)	現在の状況
静岡県総合健康センター 施設利用率	53.6% (2013年度)	55%以上	57.9% (2016年度)
市町保健センター 市町保健センターの設置 済み市町	32 (2014年10月)	全市町	32 (2017年5月)